

令和7年（1～12月） における火災の状況 （概数値）

消防庁防災情報室

1 総出火件数は40,783件、前年より3,642 件の増加

令和7年（1～12月）における総出火件数は、40,783件で、前年より3,642件（9.8%）増加しています。これは、平均すると1日当たり約112件、約13分ごとに1件の火災が発生したことになります。

また、火災種別でみますと、次表のとおりです。

令和7年（1～12月）における火災種別出火件数

種別	件数	構成比(%)	前年同期比	増減率(%)
建物火災	22,345	54.8%	1,373	6.5%
林野火災	1,043	2.6%	212	25.5%
車両火災	3,692	9.1%	146	4.1%
船舶火災	78	0.2%	16	25.8%
航空機火災	5	0.0%	2	66.7%
その他火災	13,620	33.4%	1,893	16.1%
総火災件数	40,783	100%	3,642	9.8%

2 総死者数は1,414人、前年より37人の 減少

火災による総死者数は、1,414人で、前年より37人（2.5%）減少しています。

また、火災による負傷者は、5,949人で、前年より144人（2.5%）増加しています。

3 住宅火災による死者（放火自殺者等[※]を 除く。）数は970人、前年より60人の減少

建物火災における死者1,171人のうち住宅（一般住宅、共同住宅及び併用住宅）火災における死者は、1,018人となっています。更にそこから放火自殺者等を除くと970人で、前年より60人（5.8%）減少しています。

なお、建物火災の死者数（1,171人）に対する住宅火災の死者数（1,018人）の割合は86.9%で、建物火災の件数に対する住宅火災の件数の割合53.4%と比較して非常に高くなっています。

（※放火自殺（心中を含む。）者及び放火自殺巻き添え・放火殺人の犠牲者。）

4 住宅火災による死者（放火自殺者等を 除く。）の4人に3人が高齢者

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）970人のうち、65歳以上の高齢者は730人（75.3%）で、前年より49人（6.3%）減少しています。

また、住宅火災による死者の発生した経過別の内訳は、逃げ遅れ403人（前年比62人（13.3%）減）、着衣着火42人（前年比3人（6.7%）減）、出火後再進入19人（前年比3人（18.8%）増）、その他506人（前年比2人（0.4%）増）となっています。

5 出火原因として最も多いものは「たばこ」、 次いで「たき火」

総出火件数の40,783件を出火原因別にみると、「たばこ」3,479件（8.5%）、「たき火」3,303件（8.1%）、「電気機器」3,240件（7.9%）、「こんろ」2,850件（7.0%）、「放火」2,392件（5.9%）の順に件数が多くなっています。

問合せ先

消防庁防災情報室
TEL: 03-5253-7526